

耳への投与方法



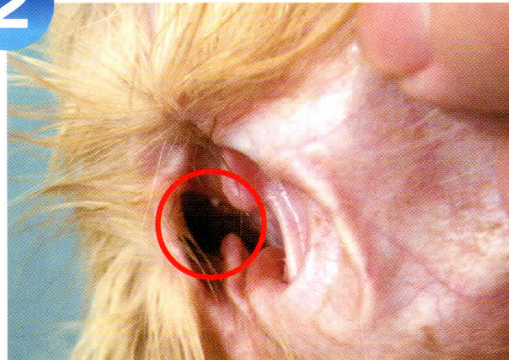
1日1回投与

1



手や脇の下で首を抱きかかえたりして、頭が動かないようにします。その際、手で頭部を撫でたりして、安心させてください。

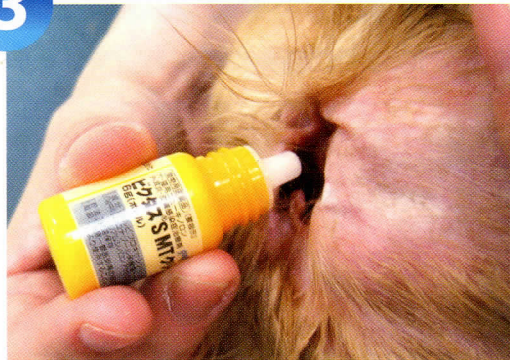
2



耳の穴は○の位置です。

※耳の穴を見つけるには、見えている範囲で分泌物を乾いたティッシュなどでふき取り、耳の穴の周囲をキレイにしましょう。ワンちゃんの耳の中は傷つきやすいので綿棒などで強くふいたりせず、獣医師の指示に従って、耳掃除を行ってください。

3



耳の穴にボトルの先を近づけて、適量（投与の目安：3～4滴）を投与します。

4



耳の付け根を、薬が外耳道の奥に流れるように上下にマッサージしてください。

耳を痛がる場合には無理にマッサージをせず、獣医師の指示に従ってください。

この薬の作用と効果について

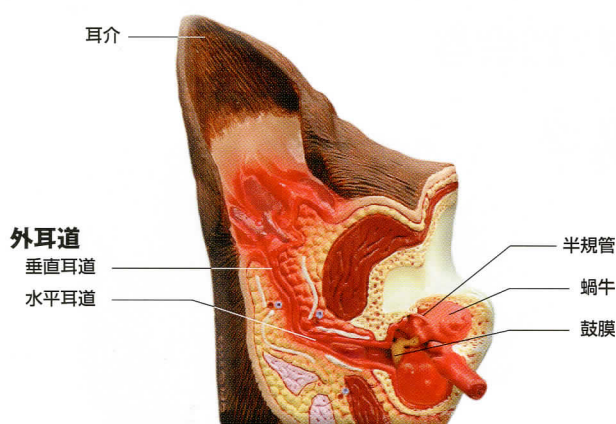
ピクタスS MTクリームは、ワンちゃんの外耳炎の原因菌(いわゆる“ばい菌”、正式には「細菌」や「真菌」と呼びます)に対して、優れた殺菌効果を発揮する薬です。薬の中には、細菌や真菌を除去する成分(抗菌薬と抗真菌薬)と、耳のかゆみや腫れなどの症状を抑える成分(抗炎症薬)を配合しています。

また、この薬には、薬を塗った場所に薄い膜をつくらせることで、病気の部位に薬の成分がとどまる働きに加え、浸透性(薬がしみ込む力)を高める働きのある成分が配合されています。

細菌性・真菌性外耳炎はどんな病気？

ワンちゃんの外耳道(耳の入り口から鼓膜までの穴)で、細菌や真菌(カビも含まれます)が異常に増えることによって起こる病気です。

外耳道の腫れや赤みなどの炎症が軽い場合は早く治ることもあります。油断をすると、症状が治まってもしばらくすると再び症状が現れることがあります。炎症がひどくなると治りにくく、慢性化する場合がありますので、先生の指示にしたがって根気よく治療をつづけましょう。



【ワンちゃんの耳】

ワンちゃんの耳の入り口から鼓膜までは、外耳道と呼ばれ、垂直耳道と水平耳道に分けられ、「く」の字のように曲がった形をしています。

このように、ワンちゃんの外耳道は曲がった形をしているため、うまく換気ができないことも多く、細菌や真菌が増えやすい温度やジメジメとした状態になりやすい傾向があります。

定期的にワンちゃんを観察しましょう。

● 以下のようなしぐさが観察されましたら、症状がひどくなる前に、すぐに動物病院に行きましょう。

- 耳をかゆがっている (首を振る、耳を壁や床にこすりつけるなど)
- 耳がいつもと違う匂いがする (くさい、すっぱいにおいがする、など)
- 頭や耳を触らせるのを嫌がる
- 耳がいつもより赤くなっている